

ふくしま自治研修センター共同調査研究成果報告会

ふくしま自治研修センターでは、県内自治体等の特定の政策課題について、解決に向けた調査研究を支援する「共同調査研究事業」を実施しています。

平成27年度は、矢祭町と共同で「地域の公共交通網整備に向けた基本調査研究」をテーマに取り組みました。

つきましては、下記により成果報告会を開催し、矢祭町とふくしま自治研修センター職員による研究成果を発表いたします。

報告後、『地域再生の罨』や話題の最新刊『競わない地方創生～人口急減の真実』の著者であり、地域再生プランナーの久繁哲之介氏をお招きします。

地方創生や人口減少対策に有益な具体的な施策、公務員が習得すべき市民目線や当事者意識などを、ご講演いただきます。

ぜひ、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

◆ 日 時 平成28年7月7日（木）13：30～16：00（13：00開場）

◆ 場 所 ふくしま自治研修センター 大講義室
（福島市荒井字地蔵原乙15-1）

◆ プログラム

第1部 共同調査研究成果報告

テーマ 『地域の公共交通網整備に向けた基本調査研究』
～豊かで安心して住み続けられる町をめざして～

発表者 矢祭町役場 町民福祉課町民グループ長 深谷 義典
自治研修センター 政策支援部主任主査 伊藤 智美

第2部 講 演

演 題 『競わない地方創生～人口急減の真実』

講 師 地域再生プランナー 久繁 哲之介氏

◆ 対象者 福島県内自治体職員、公社等団体職員

◆ 申込方法 別紙の参加申込書に必要事項を記載の上、記載の宛先へお申し込みください。

◆ 申込期限 平成28年6月27日（月）

講師のご紹介



地域再生プランナー
久繁 哲之介氏
(ひさしげ・てつのすけ)

1962年生。早稲田大学卒業後9年弱、IBM東京本社でマーケティングを担当しながら、休日の半分位は広島駅前で実家が営む老舗飲食店の経営補佐を行う。ドラッカーが1999年に提唱した「同時に二つの仕事をこなすパラレルキャリア」と、国土交通省が2005年頃から提唱する「二地域居住」を、時代に先駆けて実践していた。NPO情報ステーションなど若者バカ者と協働して、地域再生や商店再生を実践している。

- 著書 『日本版スローシティ』（学陽書房 2008）
『地域再生の罨』（ちくま新書 2010）
『コミュニティが顧客を連れてくる』（商業界 2012）
『商店街再生の罨』（ちくま新書 2013）
『競わない地方創生～人口急減の真実』（時事通信社 2016）



本書の豊富な事例解説は、公務員には痛烈な指摘も含まれますが、市民の目線では当たり前のことだと気がつかせてくれます。役所の論理と目線で仕事に勤しむうちに、見失ってしまいがちな「市民目線」を改めて意識する機会となると思います。

ご講演をより深く理解していただくため、同書をご一読いただき、報告会当日ご持参をお薦めします。

《お申込、お問合せ先》

(公財) ふくしま自治研修センター
政策支援部 (担当 伊藤)

電話 024-563-7283 FAX 024-593-5714

E-Mail: shien@f-jichiken.or.jp